

北九州市PCB処理監視委員会だより

Vol. 4

平成14年
12月

環境事業団が若松区響灘地区で計画しているPCB廃棄物処理事業が、安全かつ適正に行われるよう、北九州市は、施設の計画、建設、操業の各段階を通して監視を行う「北九州市PCB処理監視委員会」を設置しています。

監視委員会の活動内容については、「監視委員会だより」を発行し、隨時、市民の皆さんへお知らせします。

監視委員会では、第4回の監視委員会としてPCB処理施設の視察を行いました。今回は、この内容を中心にお知らせします。

◇第4回監視委員会（PCB処理施設の視察）

監視委員会では、第4回の委員会として、平成14年11月11日(月)、12日(火)に、PCB処理施設（自社保有のPCBを処理する民間施設）の視察を行いました。

視察には、委員9名（東委員、稻永委員、古野委員が欠席）のほか、環境事業団、福岡県、北九州市が同行しました。

視 察 先

11月11日(月)

東京電力㈱千葉火力発電所隣接地
TEPCO 千葉リサイクルセンター (千葉市)

11月12日(火)

日本曹達㈱高岡工場内
PCB無害化処理プラント (高岡市)
北陸電力㈱富山火力発電所内
絶縁油リサイクルセンター（仮称）(富山市)

となく、早く安全に処理しようとする各企業の思いを感じた。

◇処理施設について

- ・いずれの施設においても、大規模な処理装置ではなく、安全性については大丈夫ではないかと感じた。
- ・東京電力の施設で採用されている「施設の制御システム」「漏洩防止のための対策」「排出モニタリングの方法」などは、今後の参考になった。
- ・日本曹達の施設は、小規模であるが北九州事業と同方式であり、稼動時の実績から、操業段階における安全管理体制、作業工程や金属ナトリウム分散体（SD）の安全性などを確認できた。
- ・北陸電力の施設は工事中であったが、処理担当の責任者が施設建設の段階から携わっているように感じた。北九州事業でも、操業段階を含めた事業全体の統括責任者を早い時点で任命し、責任ある体制を構築することが大切であると感じた。

【視察の感想】

委員から次のような感想、意見等が寄せられています。

◇視察全体を通じて

- ・「百聞は一見にしかず」の言葉どおり、これまで説明を受けてきたことを具体的にイメージすることができ、今後の監視委員会活動に対して大いに参考となった。
- ・北九州事業と同程度の規模の施設や、同じ処理方式の施設を視察できたので、北九州事業のイメージを把握することができた。
- ・今回視察したような施設であれば、大丈夫だと感じた。
- ・PCBを次の世代に負の遺産として残すこ



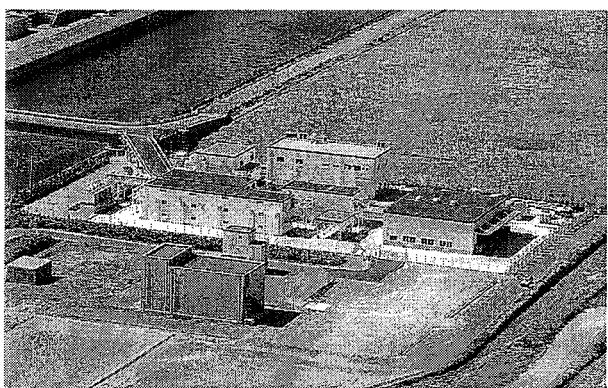
◇今後の監視委員会活動に向けて

- ・ 観察で得られたことや感じたことを、今後の委員会活動に活かしていきたい。
- ・ 今回観察できなかった前処理工程（容器の洗浄など）を、出来るだけ早い時期に観察したい。

【視察先の概要】

1. 東京電力(株)

TEPCO 千葉リサイクルセンター



1) 所在地

千葉市中央区蘇我町

※京葉工業地帯千葉火力発電所隣接地
(直近住宅地まで約 3 km)

2) 敷地面積

約 8,500m² (サッカー場と同程度の広さ)

3) 処理方式

化学抽出分解法による脱塩素化分解

※北九州事業（第1期）とは使用する薬品が異なる

4) 処理能力

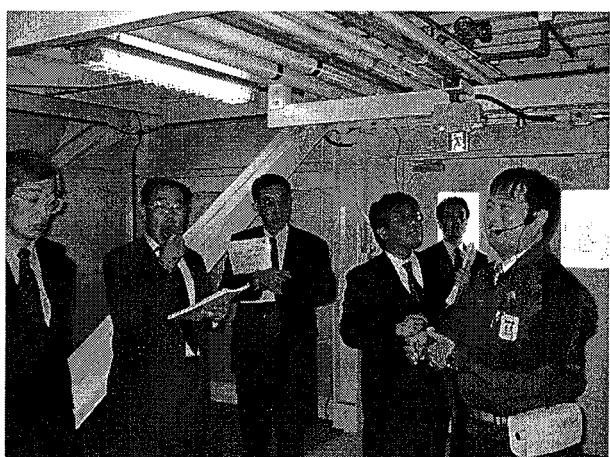
1,000 パル／日

※平成15年度以降に拡張する予定

5) 処理開始

平成14年3月（操業中）

○横浜火力発電所内でも同様の施設が稼動している。また、川崎火力発電所内でも、平成15年3月の稼動を目指して、現在建設中。



2. 日本曹達(株)P C B 無害化処理プラント



1) 所在地

富山県高岡市向野本町（高岡工場内）

※小矢部川沿いの工場地帯の一辺
(直近住宅地まで約 350m)

2) 敷地面積

約 800m² (若松体育館のほぼ半分の広さ)

3) 処理方式

金属ナトリウム分散体法による脱塩素化分解
※北九州事業（第1期）と同じ方式

4) 処理能力

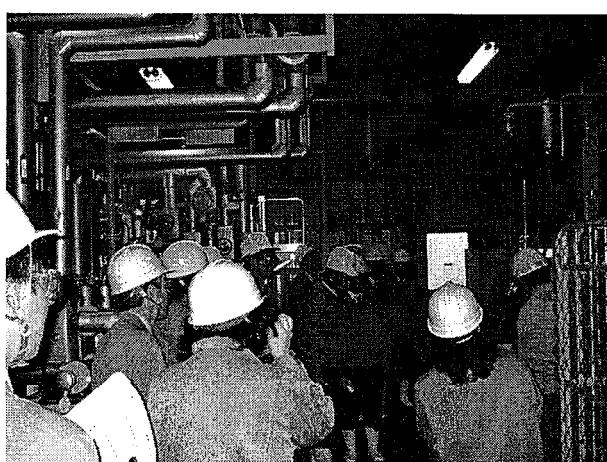
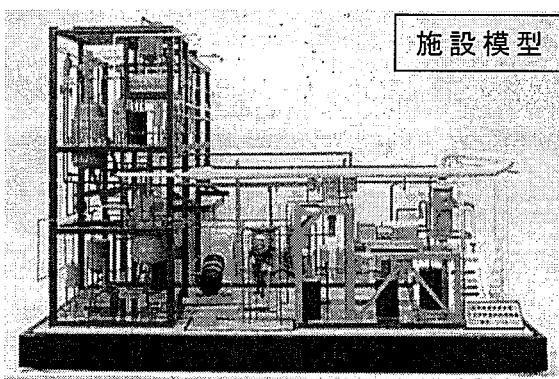
約 40kg/日

5) 処理開始

平成14年4月（処理はほぼ終了）

○日本曹達では、新潟県中郷村の二本木工場にも同様の処理施設を設置している。

施設模型



3 北陸電力(株) 絶縁油リサイクルセンター（仮称）



- 1) 所在地
富山市草島字長井
※神通川河口部に位置する富山火力発電所内
の一角（直近の住宅地まで約1km）
- 2) 敷地面積
約3,000m²（若松体育館の2倍の広さ）
- 3) 処理方式
金属ナトリウム分散体法による脱塩素化分解
※北九州事業（第1期）と同じ方式
- 4) 処理能力
5,000t/a/日
- 5) 処理開始
現在建設中で、平成15年1月ごろ試運転を
開始する予定



【各施設での質疑・応答】

視察に際して、以下のような質疑・応答が
ありました。

[東京電力]

- (質問) 委員 _____
作業者が直接PCBに触れるところでの安全性の確保策は。
(回答) 東京電力(株) _____
作業者が直接PCBに触れるのは、受入の

際の油抜き工程のみであり、ここでは局所排気を行っている。

(質問) 委員 _____

PCBの濃度分析は、PCB油の搬入時と
処理済油の搬出時にのみ行うのか。

(回答) 東京電力(株) _____

PCB油の搬入時と処理済油の搬出時にのみ行う。

本施設では、一定の条件のもと、繰り返しの操業がなされるよう分解条件の設定がなされている。従って、装置が正常に作動したことを確認し、分解後に分析を行うこととしている。

(質問) 委員 _____

処理施設の操業体制は。

(回答) 東京電力(株) _____

24時間操業しており、施設の運営を行う日勤者と、設備の運転を行う当直員で対応している。

[日本曹達]

(質問) 委員 _____

金属ナトリウム分散体（SD）は北九州事業でも使用するが、北九州事業の施設までどのように搬入するのか。

(回答) 日本曹達(株) _____

まだ正式に決まっていないが、新潟県二本木工場でSDを製造しトラックに載せて搬入する方法と、処理施設の近くでSDを製造する方法のいずれかを考えている。

[北陸電力]

(質問) 委員 _____

今回視察した施設は、低濃度のPCBを処理する施設であるが、高濃度のPCBの処理はどのように考えているか。

(回答) 北陸電力(株) _____

北陸電力として高濃度のトランス・コンデンサを900台保管しているため、高濃度の処理施設の設置も検討している。

※視察の詳細を記した報告書を作成しました。問い合わせは事務局まで。
(市のホームページにも掲載しています。)

お知らせ

平成14年11月1日、環境事業団より
北州市長に対し、「廃棄物処理法」に基
づくPCB処理施設の設置許可申請がなさ
れました。

北九州市PCB処理監視委員会委員

○学識経験者

氏名	所属
浅岡 佐知夫	北九州市立大学国際環境工学部教授
是永 逸生	(社)日本技術士会九州支部北九州地区代表幹事
杉本 旭	北九州市立大学国際環境工学部教授
東 敏昭	産業医科大学産業生態科学研究所教授
吉永 耕二	九州工業大学工学部教授

○市民代表(公募による選出者)

氏名	職業
嶋津 元彦	元団体職員
津田 潔	元会社員
成田 裕美子	自営業専従者
古野 和彦	団体職員
水城 秀信	大学生

○市民代表(市民団体からの推薦者)

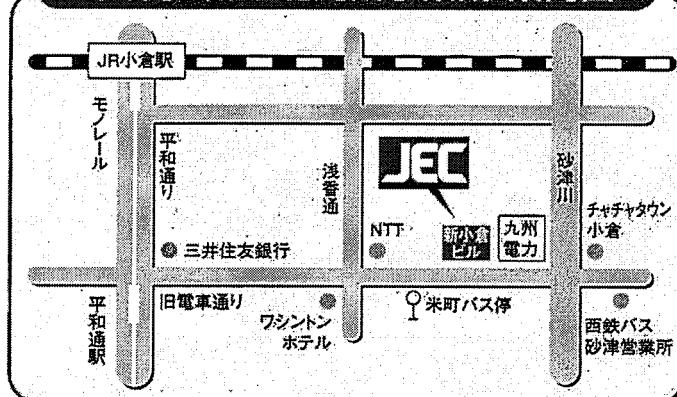
氏名	推薦団体
稻永 勝	若松区自治総連合会
柿内 よし子	北九州市女性団体連絡会議

◆ PCB処理事業の内容については、

環境事業団 北九州事業所 TEL 093-513-8064

〒802-0003 北九州市小倉北区米町 2-2-1 新小倉ビル本館 3階
まで、お問い合わせください。説明に伺います。

環境事業団 北九州事業所 案内図



◆ PCB処理事業に関する情報は、

環境事業団のホームページに掲載しています。

<http://www.jec.go.jp/pcbttop.htm>

◆監視委員会は、市民の方の傍聴ができます。

委員会の開催は、市政だよりなどでお知らせします。

◆ PCB処理監視委員会（会議資料、議事録など）や、

PCB処理事業に関する情報は、

市のホームページに掲載しています。

<http://www.city.kitakyushu.jp/~k2602010/sesaku/pcb1.htm>

◆ PCB処理監視委員会に関するお問い合わせは、

北九州市PCB処理監視委員会事務局（下記）まで

[発行]北九州市PCB処理監視委員会

事務局：北九州市環境局環境産業政策室

〒803-8501 北九州市小倉北区城内 1-1

TEL 093-582-2630

FAX 093-582-2196